

<祝 町制75周年を記念する>

歌劇



芸術文化振興基金助成事業

ヘンゼルと グレーテル

Hansel and Gretel

全三幕十場

日本語上演・ダブルキャスト



2015年 **A** 19日(土) 14時開演(13時30分開場)

12月 **B** 20日(日) 14時開演(13時30分開場)

島本町ふれあいセンター
ケリヤホール

入場料(当日会員券): 3,000円

※会員は会員証で入場できます。

お問合せ・チケット

島本音楽協会:075-962-1464
長谷川書店:075-961-6118
小林酒店:075-961-0052

父親ピーター(ほうき職人) **両日**・・・池田真己(テノール)
 母親ゲルトルート(その妻) **両日**・・・秋田さきこ(メゾソプラノ)
 ヤス **両日**・・・吉田郁美子(メゾソプラノ)
 ヘンゼル(その息子) **A19H**・・・安谷万佑子(ソプラノ)
 ヘンゼル(その息子) **B20H**・・・向井優希(ソプラノ)
 グレーテル(その娘) **A19H**・・・津田由紀子(ソプラノ)
 グレーテル(その娘) **B20H**・・・熊沢由美子(ソプラノ)
 魔女 **両日**・・・渡士あかね(メゾソプラノ)
 眠りの精 **両日**・・・熊沢由美子(ソプラノ)
 暁の精 **A19H**・・・津田由紀子(ソプラノ)
 暁の精 **B20H**・・・向井優希(ソプラノ)

指揮/ピアノ・・・パブロ・エスカンデ
 ピアノ・・・三橋桜子
 合唱・・・14人の天使合唱団、こどもたちの合唱団
 全員合唱



音楽監督指揮・ピアノ
パブロ・エスカンデ

音楽監督指揮:パブロ エスカンデ
 制作/演出:藤原靖彦
 日本語台本:細見羽衣(島本音楽協会制作)
 児童合唱指導:藤井博子
 14人の天使合唱指導:村上勢津子
 舞台監督:乃村健一(n.o.m.)
 照明:沢井敦治
 美術:n.o.m.(nomura original making)

主催: 島本音楽協会

後援: 大阪府 島本町 島本町教育委員会 島本町社会福祉協議会 協賛: 島本町商工会

＜祝 町制75周年を記念する＞
歌劇「ヘンゼルとグレーテル」
 (全三幕十場 / 日本語上演・ダブルキャスト)

歌劇「ヘンゼルとグレーテル」はグリム童話を本にした本格的なオペラとして世界中で上演されるおとぎ話オペラです。島本音楽協会を中心としたオールキャストによる、クリスマスシーズンに「祝 町制75周年」を記念し、このオペラを上演致します。ほうき職人の子どもとお菓子の国の魔女との絡みが面白く、子供たちへの愛の眼差しが感じられる島本音楽協会新作台本による、子供も大人にも愉快で心

温まるオペラです。また、ドイツ民謡を随所に用いた親しみやすい音楽により、広く上演される世界で最も有名なオペラの一つとなっています。公演では、会場（ホール）の広さ等の制約と公演経費面を勘案し、ピアノ演奏（連弾）での上演とします。そして、ふれあいセンター「ケリヤホール」で上演可能なオペラ公演にすることから新たな音楽構成と舞台装置等を創造します。島本を中心とした創造性豊かなオペラづくりにより、音楽芸術文化の振興と地域文化の継続発展を目標とすると共に、このオペラを地域で制作し、上演することが大きな音楽文化の発展に資するものとなることを祈念しています。

あらすじ

第一幕 ～ほうき職人の田舎家で～

第1場（家の中で）家で留守番と家事手伝いをするヘンゼルとグレーテル。民謡と踊りに興じてしまう。
 第2場（母親登場と叱責）帰宅した母親の叱責とミルク壺の破損などで、二人にイチゴ摘みを命じる。
 第3場（父親帰宅と不吉な予感）上機嫌で帰宅の父親が満ちての大儲けを謳う。森に子供をイチゴ摘みに行かせたことを知り、魔女に出合う不安と恐怖で慌てて子供たちを捜しに行く。

第二幕 ～森の中～

第1場（イチゴ摘みに大忙し）森の奥でイチゴ摘み。そのイチゴをつまみ食い、全部空っぽに。ああどうしよう！やがて日も暮れて真っ暗に。
 第2場（眠りの精の登場）森の霧が晴れて現れた眠りの精が二人に眠りの砂を振りかける。二人は眠る前の「夕べの祈り」を静かに歌う。
 第3場（パントマイムと天使の合唱）眠りについて二人に、天から梯子で降りてきた14人の天使が取り囲み安らかにと合唱する。

第三幕 ～森の中のお菓子の家～

第1場（暁の精の登場）翌朝、暁（露）の精が起こしにやってくる。目覚めたグレーテルが小鳥をまねて歌う。
 第2場（お菓子の家の出現）森の中のお菓子の家を見つける。空腹の二人はお菓子の家に夢になる。
 第3場（魔女の登場）魔女が二人の前に現れ、私はロジーナと名乗る。魔女はあの手この手でだまそうとする。魔法をかける魔女のやり方を見破った二人は、最後は見事に魔女を退治してしまう。
 第4場（子どもたちの合唱とフィナーレ）魔法を解いた二人の機転により、お菓子に変えられていた子供たちが元の子供として出現する。大きな歓びの中に、父親、母親も到着し、全員の無事を喜び合う。



歌劇「ヘンゼルとグレーテル」(全三幕十場 / 日本語上演) 出演者プロフィール



池田真己 (テノール) 父親ピーター (両日)
 1990年生まれ。島本町在住。大阪府立春日丘高校を経て京都市立芸術大学声楽専攻を卒業。卒業後は、オペラやオリジナルミュージカルなどの舞台に出演すると共にコンサート活動も積極的に進めている。また、合唱団や唱歌クラスの指導者としても活動を展開している。これまで声楽を清原邦仁、折江忠道、松本薫平の各氏に師事。現在、京都市立芸術大学大学院修士課程在学中。神戸市混声合唱団員。



津田由紀子 (ソプラノ) グレーテル(B)/暁の精(A)
 同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻卒業。同大学音楽学会<頌啓会>特別専修生修了。島本音楽協会創立30周年記念公演創作オペラ「秀とカッパの笛」の「森の女王」役で出演。2012年第30回島本町立歴史文化資料館コンサート「津田由紀子ソプラノリサイタル」に出演。2013年「島本ジュニアコンサート」出演。第五回コンコルソムジカルテア賞。女声合唱団「はな」のヴォイストレーナー。高橋道子、今城淳行、榎本八重子の各氏に師事。



秋田さきこ (メゾソプラノ) 母親ゲルトルト (両日)
 茨木市在住。大阪府立春日丘高校、京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。小学生の頃、茨木市少年少女合唱団入団をきっかけに音楽を始める。高校では音楽部に所属しオペラ、ミュージカル、合唱曲など多くの舞台を経験する。大学在学中には『フィガロの結婚』ケルビーノ役、『あまじやくとらうりこひめ』ばっさ役、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ役で出演。卒業後は関西の様々なオペラ公演に合唱として出演している。野村ゆみ、北村敏則、折江忠道、三井ツヤ子の各氏に師事。



渡士あかね (メゾソプラノ) 魔女 (両日)
 同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻声楽コース卒業。卒業後イタリア・ミラノ音楽院に留学、2011年同音楽院上級課程修了。2013年同音楽院ルネサンス・バロック声楽課程修了。2010年第20回バルレック国際音楽コンクール(イタリア)声楽部門第3位受賞。2013年8月イタリア・ピサで帰国を記念してオペラ・アリアや日本歌曲のソロリサイタルを開催。同年9月京都バロックザールで帰国記念メゾソプラノ・リサイタルを開催。華のあるメゾソプラノ歌手として知的な音楽アプローチと艶のある音色に注目と期待が集まっている。



吉田郁美子 (メゾソプラノ) ヘンゼル(A)
 島本町在住23年の主婦。宮崎県出身。小学校4年生のとき児童合唱の魅力に出会って以来、中学、高校と部活動として合唱に親しむ。島本町立第二小学校PTAコーラスを経て現在、島本音楽協会コーラスサークル「コールあんだんて」所属。2009年島本音楽協会創立30周年記念公演創作オペラ「秀とカッパの笛」に出演し、カッパのゲンを演じる。



熊沢由美子 (ソプラノ) 眠りの精 (両日)
 相愛女子大学音楽学部声楽科声楽専攻卒業。沙羅の木会三島支部Tisコンサート、オペラ「おろかな嫁様」の嫁役に出演。島本音楽協会創立30周年記念公演創作オペラ「秀とカッパの笛」の「森の精」役を演ずる。2013年第37回島本町立歴史文化資料館コンサート「熊沢由美子ソプラノリサイタル」を開催。その他数多くの演奏会に出演。荘田 作、志賀泰子の各氏に師事。



安谷万佑子 (ソプラノ) ヘンゼル(B)
 大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同音楽専攻科修了。同大学院歌曲研究室修了。第7回KOB E国際学生音楽コンクール優秀賞・審査委員長賞受賞。ジョイントリサイタル、ソロリサイタルを開催。スイスにて日本歌曲リサイタル。地球音楽隊「フレンドシップ」の活動としてラオスとカンボジアにてコンサートや学校訪問演奏、2007年ラオス教育省より感謝状を授与される。関西歌曲研究会、まほろば21世紀創作歌曲の会、関西現代音楽交流協会、茨木市音楽芸術協会各会員。現在、大阪音楽大学助手。



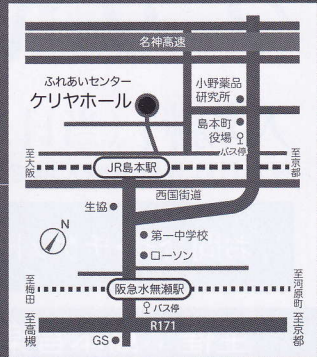
三橋桜子 (ピアノ)
 東京都立芸術高校ピアノ科を経て東京芸術大学器楽科チェンバロ専攻卒業。オランダのエトレヒト音楽院に留学し、ディプロマを取得。チェンバロを鈴木雅明、S・ヘンストラ、P・アンタイ、A・ジルベライシュ、通奏低音を多田逸郎、小島芳子の各氏に師事。ブルージュ国際古楽コンクール セミファイナリスト。京都・青山音楽賞受賞。京都市立芸術大学非常勤講師。



向井優希 (ソプラノ) グレーテル(A)/暁の精(B)
 同志社女子大学音楽専攻科声楽専攻修了。木川田温子氏に師事。在学時は大学の推薦により、同大学オーケストラコンサートにソリストとして出演。卒業演奏会・修了演奏会に出演。また、石村雅子賞、頌啓会音楽賞を受賞し、頌啓会主催新人演奏会を行う(2013.6.15 イシハラホール)。第4回東京国際声楽コンクール 神戸新聞社賞。第27回京都芸術祭デビューコンサート音楽部門奨励賞受賞。現在、HMS OSAKA ボーカルインストラクター。



バブロ・エスカンデ (ピアノ・指揮)
 アルゼンチン生まれ。ブエノスアイレスの音楽院にて「音楽国家最高位資格 (Maestro Nacional de Musica)」を取得。その後オランダに渡り、J・オッホのもとでチェンバロとフォルテピアノを、アムステルダム旧スヴェーリンク音楽院でR・ライナに作曲を学ぶ。オランダ、オーストラリア、アメリカ、スペイン、日本他各国から委嘱を受け、独奏曲、室内楽、オラトリオ、教会音楽、オペラ、バレエ音楽、歌曲のほか、オーケストラのための曲を作曲している。2007年アメリカアリエノール作曲コンクールにて名誉賞を受賞。オランダ、ルクセンブルグ、プエルトリコなどで数々のオペラのプロジェクトに参加している。現在は、国内外で作曲家、編曲家、鍵盤奏者として活躍中。



2015年 **A** 19日(土) 14時(13時30分開場)
B 12月 20日(日) 14時(13時30分開場)
 島本町ふれあいセンター ケリヤホール

入場料(当日会員券)：3,000円 ※会員は会員証で入場できます。

■音楽監督指揮：バブロ・エスカンデ ■制作/演出：藤原靖彦 ■日本語台本：細見羽衣(島本音楽協会制作)
 ■児童合唱指導：藤井博子 ■14人の天使合唱指導：村上勢津子 ■舞台監督：乃村健一(n.o.m.)
 ■照明：沢井敦治 ■美術：n.o.m.(nomura original making)

お問合せ
 チケット
 島本音楽協会：075-962-1464
 〒618-0022 島本町東大寺3-8-2
 長谷川書店：075-961-6118
 小林酒店：075-961-0052

島本町ふれあいセンター
 〒618-0022
 大阪府三島郡島本町 桜井三丁目4番1号
 TEL:075-961-1010 FAX:075-961-1116
 JR島本駅下車、西出口より京都方面へ線路沿いに150m左折。山側のふれあいセンター内にケリヤホールあり。
 阪急京都線水無瀬駅から若山台行きバスにて、島本町役場前下車、徒歩3分。